

はしど

平成29年 5月31日
学校便り 第3号
練馬区立橋戸小学校
校長 河崎 晃二
<http://www.hashido-e.nerima-tyo.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

開校当時の橋戸小学校

校長 河崎 晃二

6年生は、ゴールデンウィーク明けの5月8日(月)から3泊4日の岩井移動教室に行ってきました。3日目は雨がぽつりぽつりと降っていましたが、予定していた事は全て行うことができました。また、新緑の中に山藤のうす紫がところどころに見られ、本当に美しい季節に移動教室を実施できました。

製鉄工場の見学、鋸山・鴨川シーワールドの見学、地引き網体験、干物作り、キャンプファイヤーなど、とても楽しい充実した4日間でした。そして、「自律」と「感謝」をテーマに、実にたくさんのお話を学んできました。その様子は、ホームページでも紹介しましたが、もっとたくさんのお話を聞きたいですね。この3泊4日は、子供たちにとってかけがえのない体験となりました。本物に触れ、友達と互いに感じたことを交流できたことによって、豊かな心を育てることができたのではないのでしょうか。これからも子供たちには、体験を通して「自律」と「感謝」をテーマに活動させていきたいと思っています。



「大泉学園小とのお別れの会」

さて、先月は「橋戸」の歴史についてお知らせしましたが、今回は、開校当時の橋戸小学校の様子等についてお知らせします。

昭和50年頃、当時子供の数が増える中で、小学校増設運動によってできたのが橋戸小学校です。地域の子供のためにということで、地元の方が畑だったこの土地を提供してくださいました。

学校を創るにあたっては、増設委員会を設け、施設、設備、通学路の事などについて何度も話し合いが行われました。特に通学路については、交通量の多いバス通りは使わないことにしました。八坂小・大泉第一小・豊溪小・大泉北小・泉新小の5校から606名が移籍し新1年生112名を迎え、総計718名、18学級でスタートしました。児童数は、現在より約400名も多く学級数も各学年3学級だったのには驚かされます。また、開校当時、橋戸小の子供たちは、元気いっぱいにごろごろしていました。そして、真新しい真っ青なプールで行われた水泳大会では、はりきっていい記録を出したそうです。

その年の12月1日には、開校記念式典が行われました。そこで、橋戸小学校の校旗・校歌・校章が制定されました。校歌は、初代横山博秀校長先生が作詞されました。夏休みに、白子川の辺りを見て歩いたり、屋上から周りの景色を眺めたりして歌詞の構成を考えました。

